

第8回（2019年度第2回）支部幹部会議事録

JCI 四国支部

1. 日 時 2020年1月17日（金）15時00分～17時10分
2. 場 所 香川県生コンクリート工業組合 2F 会議室
3. 出席者 甲斐芳郎，橋本親典，上田隆雄，氏家勲，金滝和彦，福原力，藤井禎
古田満広，横井克則，堀井克章，林和彦，尾寄秀典
（事務局）新居宏美（計13名）

4. 配付資料

- 資料1 第7回支部幹部会議事録（案） p1～p2
資料2 2019年度事業報告（案） p3～p7
資料3 2019年度収支決算（案），2020年度収支予算（案） p8～p11
資料4 2020年度事業計画（案） p12～p15
資料5 2019年度支部執行部，島先生からのメール p16，17
資料6 四国コンクリート技術懇話会収支計算書 p18
資料7 支部規程，支部執行部候補者推薦委員会規程 p19～p23
資料8 「生コンセミナー in 徳島」開催案内文書 p24，25

別冊 研究委員会活動報告

- ・四国におけるインフラ維持管理新技術研究委員会報告会収支報告
- ・四国の生コン技術力活性化委員会【第4期】
- ・コンクリートの品質向上を目指した CUS 利用普及のための技術研究委員会
- ・四国における新設コンクリート構造物の品質確保の実践に関する研究委員会
- ・四国におけるコンクリート教育に関する研究委員会
- ・第10回コンクリート技術研修会収支報告書

5. 審議事項

甲斐支部長より支部幹部会開催に当たり挨拶があり，その後，各議題について審議が行われた。審議結果は，以下のとおり。

（1）第7回支部幹部会議事録の確認（資料1）

第7回支部幹部会議事録（案）が確認され，支部 HP にアップすることが承認された。

（2）2019年度事業報告および収支決算案について（資料2，3，別冊）

2019年度収支決算案について，12月末決算および3月末見込み決算が承認された。また，事業報告について以下のとおり対応することが確認された。

- ・ 2019 年度に終了する 3 件の研究委員会の成果報告書の番号を以下のとおりとする。
JCI S-17：四国の生コン技術力活性化委員会【第 4 期】
JCI S-18：コンクリートの品質向上を目指した CUS 利用普及のための技術研究委員会
JCI S-19：四国における新設コンクリート構造物の品質確保の実践に関する研究委員会
- ・ 購入者の利便性向上が見込め、かつ経費も抑制できることから研究委員会の成果報告書の媒体を紙だけでなく、CD も認める。
- ・ 成果報告書を支部 HP にアップし、活動成果を広く活用してもらうことで研究委員会の成果がさらに有益なものになるのではとの意見が出された。著作権の問題等もあり、甲斐支部長より JCI 本部へ実行の是非および問題点を確認することになった。JCI S-18 の報告書の著作権の許諾に関しては、研究委員会が個別に行うように指導がなされた。
- ・ 9 月 25 日に実施された「四国におけるインフラ維持管理新技術研究委員会の成果報告会」の収支報告書に非破壊検査デモ支援として、税込み 172,800 円が計上されている。高額であるため、業者選定の経緯等について研究委員会岡崎幹事長に説明を求めることが確認された。

（3）2020 年度事業計画案および収支予算案について（資料 3, 4）

事務局より 2020 年度事業計画案および収支予算案について説明があり、以下のとおり確認した。また、2020 年度事業計画案および収支予算案については、2 月 3 日までに本部へ報告する必要があるが、2 月 4 日開催の支部執行委員会での審議を経ず本案を暫定的に報告することが確認された。

① 2020 年度事業計画案について

- ・ 内部監査を以下のとおり実施する。
日 時：2020 年 4 月 11 日（土）13 時 00 分～
場 所：香川県生コンクリート工業組合
出席者：橋本副支部長（甲斐支部長代理）、堀井検査役、事務局
- ・ 総会
支部幹部会メンバー、研究委員会報告者および特別講演者で開催日をメールで調整する。候補日を 4 月 13 日（月）～16 日（木）とし、場所はリーガホテルゼスト高松かパールガーデンとする。また、スケジュール案は例年どおり 13 時 30 分支部執行委員会開催、19 時 30 分懇親会終了とする。なお、本部役員の出席は甲斐支部長が要請する。
- ・ 研究委員会は常設 1 件、新規 2 件とする。新規の 1 件は、愛媛大学の河合先生が計画中であり、委員会の名称および活動方針等今後の取り組みをメールで確認することになった。もう 1 件は四国の生コン技術力活性化委員会【第 5 期】を第 1 候補とし、生コンの四国地区本部に活動意向を確認する。なお、本委員会は生コン業界自らが考え行動する全国的にも稀有な活動であり、甲斐支部長からは是非継続するよう要請がなされた。また、予算は厳しいが 2 件以外に研究委員会設置の希望があれば検討するので提案するよう甲

斐支部長より要請がなされた。

- ・ 甲斐支部長より総会後の特別講演を日建設計の向野氏に要請し承諾済であることが報告された。
- ・ 2019年度に2年間の活動を終える3件の研究委員会の成果報告会の開催予定が以下のとおり確認された。

「四国の生コン技術力活性化委員会【第4期】：2020年2月20日

「コンクリートの品質向上を目指した CUS 利用普及のための技術研究委員会」：

2020年9月4日

「四国における新設コンクリート構造物の品質確保の実践に関する研究委員会」：

2020年秋頃

- ・ 生コンセミナー in 愛媛の主催を JCI 四国支部とし、愛媛県生コンクリート工業組合は共催とする。

② 2020 年度収支予算案について

2020 年度収支予算案が承認された。本年度に比べ大幅に異なる内容は以下のとおり。

- ・ コンクリート診断士講習会は e ラーニングになるため、報酬金（2019 年度 174,800 円）は 0 とする。
- ・ 講習会収入として「コンクリートの品質向上を目指した CUS 利用普及のための技術研究委員会」と「四国における新設コンクリート構造物の品質確保の実践に関する研究委員会」の成果報告会参加費としてそれぞれ 30,000 円ずつ計上する。
- ・ 講習会費のうち、「コンクリートの品質向上を目指した CUS 利用普及のための技術研究委員会」と「四国における新設コンクリート構造物の品質確保の実践に関する研究委員会」の報告書作製費と成果報告会会場費としてそれぞれ 100,000 円ずつ計上する。
- ・ 新規委員会 2 件 400,000 円を含めた研究委員会費を 620,000 円とする。

（4）2020 年度四国支部執行部について（資料 5）

直前に開催された支部執行部候補者推薦委員会の審議結果について氏家委員長より報告があり、甲斐支部長に答申したことが確認された。

（5）四国コンクリート技術懇話会について（資料 6）

四国コンクリート技術懇話会の 2019 年度分支出が確認された。

以上

（記録者：古田 満広）